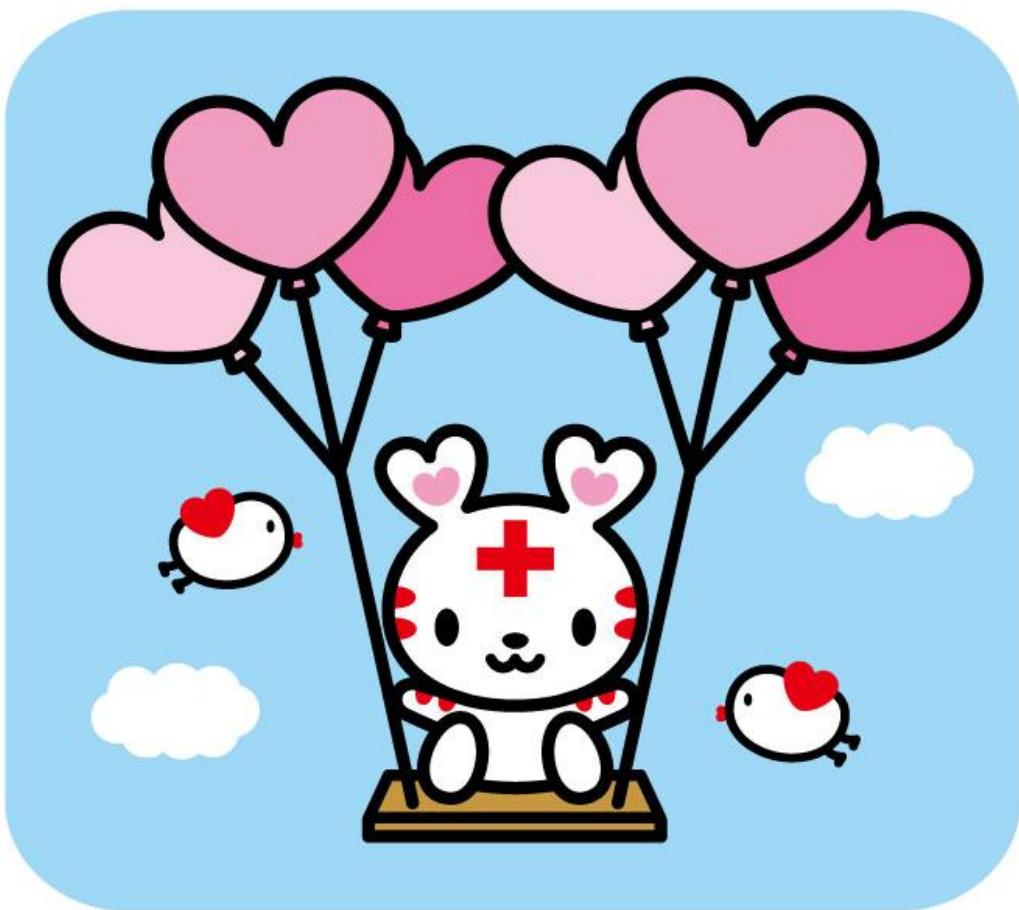


高知県「青少年赤十字」のご案内

【令和7年度版】

「思いやりの心」を育む教育活動に
青少年赤十字をご活用ください



【本件に関する問合せ先】

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番45号 総合あんしんセンター1階
日本赤十字社高知県支部 事業推進課 青少年赤十字担当
TEL: 088-872-6295 FAX: 088-872-6299
Email: jigyo@kochi.jrc.or.jp



青少年赤十字（Junior Red Cross=JRC）とは？

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、いのちと健康を大切にし、地域社会や世界のために奉仕する心、そして世界の人々と分かり合う姿勢を育むことを目的として、日常生活や学校教育の中でさまざまな活動を展開しています。



青少年赤十字の3つの「実践目標」と「態度目標」

実践目標

健康・安全

いのちと健康を
大切に

奉仕

人や社会のために

国際理解 親善

世界に向けて

態度目標

気づき

自ら自分の生活や社
会の問題、ニーズに
気づく

実行する

問題解決のための
具体的な活動を実
行する

生きる力

問題解決のための
具体的な活動を実
行する

考え

原因と解決のための
道筋や方法を考える

「健康・安全」はいのちと健康の大切さを学び、人間尊重の精神を養うことを目指しています。また「国際理解・親善」は、国家や民族、宗教、思想の異なる人々について正しく理解し、交流を深めることで、世界の平和の実現を目指しています。さらに「奉仕」は、これらを実践するのは、義務や強制によるのではなく、社会の一員としての他者のために何が出来るかを考えた結果の自発的な行動によるという考え方方が流れています。

態度目標の「気づき」「考え」「実行する」は青少年赤十字の重要な考え方であり、新学習指導要領で教育の柱として掲げられた「生きる力」と大いに通じるものがあります。



青少年赤十字の活動には、「義務」はありません

青少年赤十字の活動は、学校の裁量で自由に行なうことができます。したがって、「これをしなければならない」といった義務のようなものはありません。



青少年赤十字についてもっと詳しく！！

日本赤十字社本社のHPにて青少年赤十字の活動等をご覧いただけます。

興味のある方は下記からアクセスしてください。

【本社HP】<http://www.jrc.or.jp/activity/youth/about/>





高知県青少年赤十字の活動の一例をご紹介します

健康・安全

奉仕

国際理解・親善



文化祭での収益の一部を「令和6年能登半島地震」の義援金として寄付するなどの取組みをしています。
(土佐女子中学・高等学校)



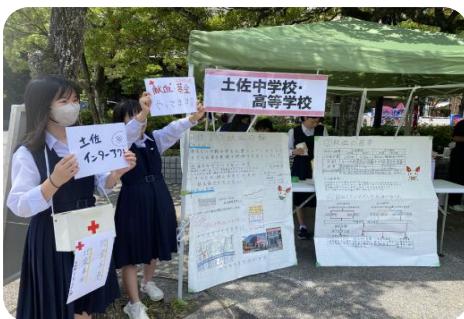
9月の防災月間にイオンモール高知で開催した「令和6年度赤十字防災・減災イベント」にスタッフとして参加。来場者の対応や呼びかけで防災意識を高める取組みをしています。(JRC)



毎年12月に「NHK海外たすけあい」の取り組みとして街頭募金を実施しています。(JRC)



生徒会として近隣の保育園と合同避難訓練を実施。地区の防災訓練にも参加するなど、新しい防災への取組みをしています。
(高知県立高知北高等学校)



オリジナルのポスターやクイズを作成し、「芸術祭」や「学×地フェスタ」で献血の呼びかけや募金活動などの取組みをしています。
(土佐中・高等学校)

高知高校生が選んだ 非常持出品



必要最小限の物を入れ、全世代が避難時に使えるよう、オリジナル防災バッグを作成し直しました。
(高知中学高等学校)



青少年赤十字への加盟登録について

「青少年赤十字登録申込票」に必要事項をご記入のうえ、日赤高知県支部へご送付ください。なお「登録申込票」は日赤高知県支部HPからもダウンロードできます。

- 加盟登録には経費や義務は一切伴いません。
- 全校はもちろん、委員会・学年・学級・部活単位での加盟が可能です。
- 加盟後も「これをしなければならない」といった義務はありません。現在、学校で行っている活動が、JRC活動に繋がっています。

加盟登録についてご不明な点は
日赤高知県支部までお問合せください。



TEL : 088-872-6295

登録申込票はwebサイトから
ダウンロードできます。

青少年赤十字 高知

検索





青少年赤十字加盟校でご活用いただける「出前講座」一覧

出前講座は児童・生徒のみならず、教職員や保護者の皆さまを対象として実施することももちろん可能です！また、【体験】と【学習】を組み合わせた講座のご活用も可能ですので、学校の授業時間に合わせて取り入れることができます。



【体験】メニュー

※【体験】メニューについては、年度内に1回まで無料。

	名 称	時 間（目安）	内 容
1.	心肺蘇生とAEDの使い方	60～90分	心肺停止の場合の一次救命処置とAEDの使用法 ※気道に異物が詰まってしまった際の対処についての講習も可能です
2.	救急法（応急手当）	60～90分	災害時にも応用できる、急病やケガに対する応急手当
3.	水上安全法（着衣泳）	60～90分	服のまま水に入ったときなど、水の事故から命を守る方法
4.	健康生活支援	60～90分	高齢者への支援のポイントやリラクゼーションについて
5.	幼児安全法	60～90分	乳幼児に起こりやすい事故や病気に対応する方法
6.	雪上安全法	60～90分	雪上で起こりやすい事故の事例や対処法

【学習】メニュー

※【学習】メニューについては回数に関わらず無料。

	名 称	時 間（目安）	内 容
1.	赤十字について	30～60分	赤十字の成り立ちや現在の活動などについて理解を深めます。
2.	平和学習	45～60分	世界で生きる子どもたちの生活や「地雷の恐ろしさ」「少年兵」について学びます。
3.	防災学習	45～60分	過去の災害に対する赤十字の活動や、南海トラフ地震など災害への備えのほか、避難所での生活やボランティア活動について学びます。
4.	ぼうさいまちがいさがし きけん はっけん！（P. 9参照） ※幼稚園・保育所向け	45～60分	日本赤十字社本社が開発した教材を用いて、防災についてのグループワークなどを行います。
5.	まもるいのちひろめるぼうさい (P. 10参照) ※小・中・高校生向け	45～60分	日本赤十字社本社が開発した教材を用いて、防災についてのグループワークなどを行います。
6.	避難所運営ゲーム（HUG）	120～150分	静岡県で開発されたゲームで、避難所で起こる様々な出来事への対応について、ゲーム感覚で学ぶことができます。
7.	青少年赤十字登録式 (P. 11参照)	10～15分	朝礼や全校集会の時間を利用して、赤十字の簡単な講演やワッペンの授与を行うことで、青少年赤十字の一員としての意識が高まります。
8.	献血出前講座		高知県赤十字血液センターの職員が伺います。 詳しくは担当まで。
9.	気象庁ワークショップ		高知地方気象台の大雨災害ワークショップです。 詳しくは担当まで。

※「出前講座」は原則として、土・日・祝日および5月1日（日赤創立記念日）はご活用いただくことはできません。

やむを得ず、上記日程で講習をご希望の場合、または、JRCに加盟せずに講習を依頼される場合は講師1名につき
5,000円の講師派遣費のご負担をお願いいたします。

※ご希望のメニューについて、詳しくはお電話にてお問い合わせください。



「出前講座」活用の流れ

1

出前講座を選ぶ

P.3のメニュー一覧から、活用したい「出前講座」の内容をお選びください。メニュー内容について詳しく知りたい場合や、日程についてのご相談は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

2

出前講座を申し込む

「出前講座申込書」に必要事項をご記入いただき、下記あてFAX等でお申込ください。
「出前講座申込書」は下記からダウンロードできます。

●高知県支部ホームページ

[【https://www.jrc.or.jp/chapter/kochi/about/topics/2024/0321_024829.html】](https://www.jrc.or.jp/chapter/kochi/about/topics/2024/0321_024829.html)



※注1 「青少年赤十字登録申込票」をご提出のうえ出前講座をお申込ください。（P.3参照）

※注2 「出前講座」は原則として、土・日・祝日および5月1日（日赤創立記念日）はご活用いただくことはできません。

やむを得ず、上記日程で講習をご希望の場合、または、JRCに加盟せずに講習を依頼される場合は講師1名につき5,000円の講師派遣費のご負担をお願いいたします。

3

日程・講師の調整

日赤高知県支部で学校の講習希望日と派遣講師の調整を行い、決定後、あらためてFAXで「講師派遣依頼文」様式をこちらからお送りします。

ご希望の日時でお受けできない場合は再度ご相談させていただきます。

4

講師派遣依頼文の提出

「講師派遣依頼文」に必要事項をご記入の上、下記あてFAXでご提出ください。

5

事前打ち合わせ

学校から派遣講師にご連絡をしていただき、当日の内容や準備物等の詳細について打ち合わせをお願いいたします。

6

出前講座実施

当日、講師がお伺いして「出前講座」を行います。

お問い合わせ先

日本赤十字社高知県支部 事業推進課

TEL:088-872-6295 FAX:088-872-6299

Mail:jigyo@kochi.jrc.or.jp



参加してみませんか？～日赤高知県支部主催の青少年赤十字活動～

4月 赤十字運動月間啓発パレード

5月の赤十字運動月間を前に、県内の赤十字関係者が一堂に会して、帯屋町を歩きながら赤十字をPRします。土佐女子中学高等学校の吹奏楽部やバトン部もパレードに加わり、にぎやかなイベントとなっています。



6月 高知県青少年赤十字高等学校連合会総会

高等学校加盟校のメンバーが参加して、役員選出や赤十字についての学習を行ったり、自分たちの学校での取組みなどを発表し、高校生としてできる活動について話し合います。



7月 リーダーシップ・トレーニング・センター

2泊3日の集団生活を通して、自分から「気づき」、「考え」、「実行する」力を、指示のない生活の中で、指導者の先生方やメンバーと一緒にしながら身につけることができます。プログラム中は、貿易ゲームなどのグループワークやフィールドワーク、カレー作りなどを通じて、参加者同士で交流を深めます。



12月 NHK海外たすけあい街頭募金

日本赤十字社とNHKが毎年12月に実施している募金キャンペーンに参加しています。赤十字ボランティアの方々と協力し、海外で苦しんでいる人のため、街頭募金活動を行います。



12月 高知県青少年赤十字研究大会

加盟校における日頃の取組みなどについてメンバーや指導者の先生が自由な方法で発表し、各学校の活動について理





令和7年度 青少年赤十字関係行事 開催予定一覧

	行 事 名	対象	実施予定日		場 所
1	赤十字運動月間啓発パレード	児童・生徒 教職員	4月26日（土） 13:30-15:30（予定）		帯屋町アーケード
2	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	教職員	5月30日（金）～6月1日（日）		国立オリンピック記念センター
3	高知県青少年赤十字高等学校連合会総会	高校生	5月～6月（未定） 14:00-17:00		未定
4	高知県青少年赤十字賛助奉仕団総会	賛助奉仕団員	6月（未定）	13:00～14:00	総合あんしんセンター
	高知県青少年赤十字指導者協議会	教職員		14:30～15:30	
5	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	指導者協議会長	7月4日（金）		本 社
6	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	賛助奉仕団 委員長	7月8日（火）～7月9日（水）		本 社
7	高知県青少年赤十字指導者養成講習会	教職員	7月（未定）		高知県立高知青少年の家
8	高知県小中高等学校青少年赤十字 夏期リーダーシップ・トレーニング・セン ター	児童・生徒 教職員	8月1日（金）～8月3日（日）		国立室戸青少年自然の家
9	指導主事対象青少年赤十字研究会	指導主事	8月6日（水）		本社
10	中国・四国ブロック 青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会	賛助奉仕団 委員長	10月下旬～11月上旬（未定）		高知市内（未定）
11	青少年赤十字国際交流事業 (国際交流集会)	高校生1名	10月30日（木）～11月3日（月祝）		国立オリンピック記念センター
12	中国・四国ブロック青少年赤十字指導者協議 会長並びに青少年赤十字事務担当者会議	指導者協議会長 支部職員	11月20日（木）～11月21日（金）		日赤岡山県支部
13	高知県青少年赤十字研究大会	児童・生徒 教職員	12月7日（日）	9:30-12:00	未定
	海外たすけあい街頭募金			13:00-15:30	未定

※ [] の行事は、高知県支部主催のものになります。



高知県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センター

赤十字の精神に基づき、学校の先生のご指導のもとで行われる様々なプログラム(グループワーク・フィールドワーク等)を通して、個々のリーダーシップを育みます!

グループワーク



各グループに紙や道具が不平等に与えられ、できるだけ多くの富を築くことを競う貿易のシミュレーション・ゲームを行っている様子です。
(貿易ゲーム)

野外炊事



自然の中で野外炊事の定番、カレーを作ります。火起こしから下準備、もちろんご飯も飯盒で炊いてつくります。

フィールドワーク



フィールドワークは野外におけるプログラムで、コースの途中に閑所を設け、ゲーム形式で課題をクリアしていきます。

令和7年度高知県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センター開催のおしらせ

期 間 8月1日(金)~8月3日(日) 2泊3日

対 象 小学4年生~高校3年生

場 所 国立室戸青少年自然の家(室戸市)

費 用 小学生6,220円・中学生以上6,340円(予定)

児童・生徒の皆さまのみならず、先生方のご参加も大歓迎! 詳しい開催案内は、6月中に加盟校あてに送付予定です。



～気づき 考え 実行する力を育むために～

指示のない生活 → 主体性の育成

掲示板などを活用する習慣を身につけることで、指示を待つではなく、必要な行動を自発的にとる力を育みます。

先見（せんけん） → ニーズの気づき

生活の中に見通しを立てる時間を作ることで、身の回りにある課題など(ニーズ)に気づき、自分が何をすべきか考える力を育みます。

V・S (voluntary service) → 「奉仕」の姿勢

自分の利益を求める自発的な行動を実行することで、問題解決を図っていくとする姿勢を育みます。



高知県リーダーシップ・トレーニング・センターでの実際の掲示板の様子

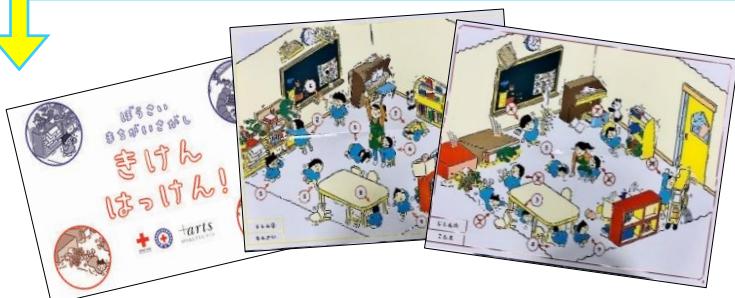


青少年赤十字の防災教材を使ってみませんか？

未来を担う子どもたちに、自然災害に対しての正しい知識を持ち、自ら考えて判断し、危険から身を守る行動をとれるようになってほしい。

日赤の防災教育は、子どもたちが主体的に取り組み、知識と行動力を身につけることができるだけでなく、他者への思いやりや優しさ、いのちの大切さを学び取る力を育むことができます。

ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！（幼稚園・保育所向け）



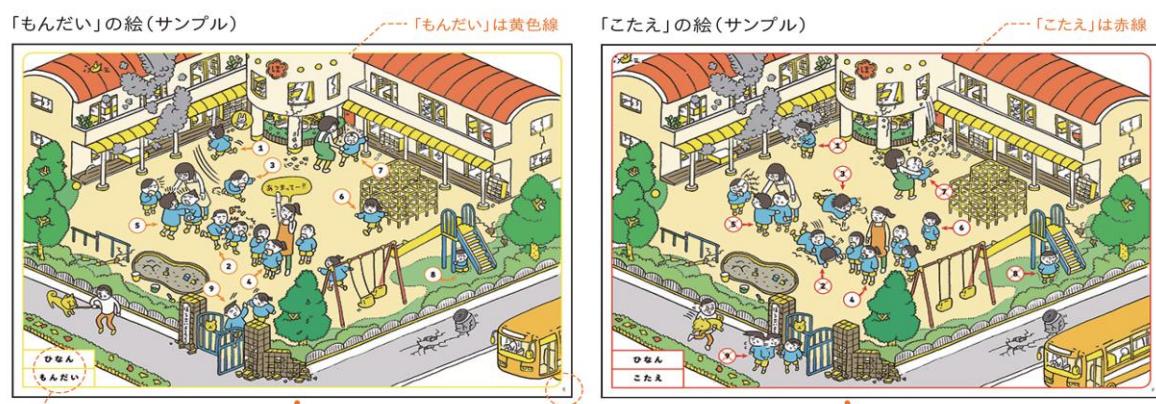
今まで園児は“先生から守られる”存在でしたが、この教材は、自ら判断し、**「自分の命は自分で守る」**ことが出来るようになることを目指しています。地震や津波、風水害等、6つのテーマで、モノと行動の両面から**子供たち自身が、身の周りにある危険を発見**します。

特徴1 楽しみながら防災を学べる

特徴2 災害時の行動による結果まで分かる

特徴3 テーマ別なので学びたい部分だけ実施可能

教材の使いかた



1 実施テーマを決め、問題の絵を貼り出す

2 子どもたちに問題の絵を見せる

3 子どもたちに危険なところを探してもらう

4 問題の絵の隣に答えの絵を貼り出す

5 災害後どうなるか、答えの絵と見比べ、危険なところを確認する

答え以外にも色々な危険が描かれているので、何回でも楽しめます！

取り扱うテーマ

①導入（災害の種類、災害が起こると自分たちの住んでいる町はどうなるのか）

②地震



③避難



④津波



⑤風水害



⑥雪害





青少年赤十字の防災教材を使ってみませんか？

まもるいのち ひろめるぼうさい（小・中・高校生向け）

自然災害に向き合ってきた日本赤十字社と現場の教員が提案する
“授業ですぐ使える防災教材”をこの一冊に

- DVDとワークシートにより、「自然災害の正しい知識」「自ら考え、判断し、危険から身を守る方法」を災害別に学ぶことができます。
- 児童・生徒の皆さんのが主体的に取り組めるような「気づき、考え、実行する」を重視したグループワークプログラムが入っています。
- 被災された子どもたちのインタビューや、ボランティアの姿から「思いやり、優しさ、いのちの大切さ」を養い、未来につなぐいのちを学ぶことができます。

【学べる自然災害】



教材の使いかた

- 「まもるいのちひろめるぼうさい」に収録されている様々なプログラムの内、その一例をご紹介します。

①指導計画に沿って授業を進めます。
限られた時間・材料で、竹ひごタワーを作り、各チームで高さを競い合います。

②4~5人のグループで意見を出し合いながらタワーを組み立てていきます。

1. 竹ひごタワー (Courtesy of Peter Skillman Design)

概要

4~5名がひとつのチームとなり、限られたアイテム（竹ひご、マスキングテープ、紙ねんど）のみを使ってタワーを作り、制限時間内に、机（もしくは床）からボール（紙ねんど）のてっぺんまでの高さを競います。

自立したタワーでなければいけないことから、手を使って使ってはいけない。アイテムは、折って使っても、切って使っても、でも、アイテムはすべて使わなくてても。（勝敗には関係ない）

・ボール（紙ねんど）に竹ひごを貼っても、刺してもよい。ただし、ボール（紙ねんど）の形状を変えてはいけない。

・マスキングテープを机に貼ってタワーを支えることは可能であるが、児童・生徒の想像力を働かせるために最初から伝えてはいけない。

対象

小学生（4~6年）から高校生まで（1チーム4~5名）が望ましい。

準備するもの

（1チームあたり）

- ・竹ひご：10本（長さ360mm、径1.8mmが望ましい）×2（2回分）
- ・マスキングテープ（手で切りやすいテープなら可）：900mm×2（2回分）
- ・ボール：紙ねんど（約15g）
- ・計測するもの（ストップウォッチ、メジャー）

展開（45~50分）

（5分）・チーム決め、ルール説明
チーム決め、机をチーム毎に寄せ、ルールを説明（1チームに1枚、ルールシートを配る）。ルールが見えないように裏にして記すよし、ルールシートはCD-Rに収録）
中・高校生の場合は、配られたルールシートを自分たちで読み上げることで理解できるが、小学生の場合は、先生がルールシートを読み上げ、説明するとより分かりやすい。ルールの説明は1分ほど。その後質問時間を開設する。

※事前に、2回うことを言わない方が、より1回（目）に集中できる。

（10分）・1回目（制限時間10分）
合図で一齊にスタートする。
チームから測定の声が聞かれたたら測定する。測定は2回までとし、測定されなければ、記録に残らない。
※チーム毎にメジャーが用意できれば、チーム毎で測定も可。
※ストップウォッチは、教師等に置いて自分たちで時間を確認させるようにする。（教師等の読み上げはしない）

（10分）・ふりかえり
「ふりかえりシート」を配る。まずは個人で3分ほどひとりかえり、残りの時間を使って、チーム毎でふりかえりを共有する。

（5分）・支援と評価
1回目の様子、ふりかえりの状況を踏まえながら、次回「ふりかえり」の評価ポイントを参考に、気になる点を伝える。

（10分）・2回目（制限時間10分）
（5~10分）・解説 次回「解説」を参考に、ねらいを伝える。



ふりかえりシート

①自分のことをふりかえってみよう
(当てはまると思うところに○に付けてみよう)

自分が何よりも大事にしましたか？	＼(^o^)/	(^-^)	(-_-)
みんなの感想をさせましたか？	＼(^o^)/	(^-^)	(-_-)
みんなで楽しめたか？	＼(^o^)/	(^-^)	(-_-)
みんなで競争を出合って決まりましたか？	＼(^o^)/	(^-^)	(-_-)

③チームのメンバーのよかったですを探してみよう

④感想（分かったこと、思ったこと）

③タワー作成終了後、個人でふりかえりシートに記入します。全体のふりかえりを通して、「非日常」の災害時のコミュニケーション能力の大切さに「気づき」「考え」「実行する」ことについて学びます。

これらの防災教材は日赤のホームページからもダウンロードできるほか、冊子のお渡しも可能です。
また、支部職員を派遣することもできますので興味のある方はぜひお問合せください。





青少年赤十字加盟登録式

児童・生徒のみなさんに「赤十字」・「青少年赤十字」について理解を深めていただき、青少年赤十字のメンバーとしての自覚・意識を持っていただくために、青少年赤十字加盟登録式を開催してみませんか？

加盟登録式で行っていること（所要時間：10～15分）

- ①「赤十字」「青少年赤十字」についてのおはなし
- ②青少年赤十字ワッペンの贈呈
(代表児童・生徒の方へ)
- ③地域赤十字奉仕団（※）の方のご紹介、ご挨拶



※地域赤十字奉仕団は、市町村を基盤にして日常生活の中で地域に根ざした赤十字活動を展開している方々です。

令和6年度
大津小・大津中の登録式の様子

朝の全校集会時や午後の集会時など、各加盟校様に合わせた時間帯での開催が可能です。
加盟登録式申込につきましてはP.4の「出前講座活用の流れ」をご参考ください。



赤十字マークを身に着けて活動してみませんか？

学校で青少年赤十字の活動を行う際に日赤高知県支部が提供できるツールをご紹介します。

【ワッペン】

表



裏



材質：軟質塩化ビニル サイズ：直径7cm

配布を希望する加盟校へ無料でお渡ししています。なお、配布可能数については、別途ご相談させていただきます。

【ビブス】

前



後ろ



学校等において奉仕・清掃活動などを行う際に、青少年赤十字マークの入ったビブスの貸出を行っております。

ビブスは黄色で、フリーサイズが50着、ジュニア用のLサイズが10着あります。

青少年赤十字マークってどんな意味??



中央に赤十字マーク、そして、その下に青少年赤十字と書かれたリボンがあり、リボンの下と周りには桜の花が14個あります。【赤十字マーク】は「赤十字の心(やさしさ・おもいやり)」、【桜】は「人やなかま」を表し、【14個】という個数には「世界で14番目に青少年赤十字活動を開始した」意味が込められています。さらに、桜を囲む【まわりの青】は「世界の空の色」を表しており、【青少年赤十字のリボンの下の桜】は「わたくし」を意味しています。

赤十字の父「アンリー・デュナン」



戦争で救護活動を行ったスイス人の実業家アンリー・デュナンが平時から国際的な救護団体をつくる必要があると感じ、赤十字が組織されました。今から150年ほど前の話です。

世界各地で救護団体として活動していた赤十字と、子どもたちの健やかで豊かな成長を願う学校の先生方との出会いの中で、「青少年赤十字」が生まれました。

そして、誰の心の中にでもある本来の「やさしさ」や「思いやり」を引き出し、育てることが役割になり、その活動は今もなお、引き継がれています。

